

年頭のあいさつ 02

- 各種イベント・行事の様子…………… 04
- 伊仙町産業祭・食の文化祭…………… 06
- 徳之島インターナショナル DAY …… 06
- 今月の町長の動き…………… 07
- 各課よりお知らせ…………… 08
- わが町のアイドル・戸籍の窓…………… 12



伊仙町HPにアクセス!

Facebook・YouTube(動画)でも、
町の情報をお伝えしています。



あいさつ



伊仙町 町長
大久保 明

町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。昨年は、本町の取り組みについて、町民の皆様の御支援をいただき厚く御礼を申し上げます。

本年は、東京オリンピック開催と「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」世界自然遺産登録が期待されるなど、時代が大きく前進する年となります。共通の文化である闘牛の縁で、昨年2月にオリンピックのホストタウン協定を結んだボスニア・ヘルツェゴビナと、新たな交流を計画し、未来を担う子どもたちが貴重な体験ができるよう取り組んでまいります。世界自然遺産登録については、ユネスコのIUCNによる現地視察を終え、今年の夏頃に登録の可否が決定しますが、環境省及び県と連携し、ノネコ対策、外来種駆除対策、環境教育に力を入れ、登録に向けて努力していく所存です。

人口減少対策に関しては、「長寿世界一・子宝日本一」の称号を持つ伊仙町として、「結の心」での助け合い、集落単位での暮

らしの活力を維持することを目指しています。そのため全ての住民が主役となり、自主自立の精神をより高め、各集落、小学校区単位の特色を更に発揮してもらおうための方向付けを明確にし、変革する社会へ対応可能な地域の仕組みづくりを目指します。第2期「伊仙町まち・ひと・しごと総合戦略」では、それらを各施策に具現化し、来る5か年の中期計画をお示しします。

農業分野においては、農業生産額50億円の持続的な達成に向け、次期農業振興計画を策定いたします。

さとうきび生産農家支援として、「ピレットプランター植付」「植付時トラクター作業」「菜苗班活動」に対する助成を行います。また、管理作業を円滑に行うため、令和2年6月を中途に、「さとうきび農作業受委託システム」を立ち上げます。堆肥や緑肥を用いた土づくりの強化、夏植え・春植え新植に対する助成事業を継続してまいります。イノシシ対策では、捕獲用大型囲いワナの導入や電気柵などの対策資材助成を実施いたします。

令和3年度までに完了予定の畑地かんがい事業の更なる推進を図り、農家の反収アップを目指し、徳之島タムの水を利用した宮農の推進及び散水設備の整備を進めてまいります。

畜産農家支援として、補助金を交付し、繁殖雌牛頭数の確保に取り組み、スマート農業を推進します。園芸農家支援については、共同利用の研修用ハウスを整備し、

園芸品目の振興を図ります。

公営住宅においては、住宅に困窮する低所得者層向けの公営住宅について、長寿命化計画に沿って整備を行ってまいります。

子育て分野においては、子育て世代包括支援センターの設立に向けて、本町の実情に即した体制づくりと、切れ目のない子育て支援策を推進します。

保健福祉・医療・介護分野においては、特定健康受診率60%維持を目標に、町民の健康増進を図るためサービスの拡充と保険者機能の強化を図ります。若年層の健康増進強化と、筋力アップや認知症予防等の介護予防、野菜づくりなどの生産活動による「農福連携」で、元気高齢者を増やし、全世代が身近な場所での健康増進に取り組める、健康長寿のまちづくりをします。障がいのある人もない人も共に生きる地域（シマ）づくりを目指し、地域共生社会の実現に向けて取り組んでまいります。

以上の政策を着実に実行することで、年齢、性別、障がいのあるなしに関わらず、町民を主役とした「生涯活躍のまちづくり」実現を目指します。

結びになります。今年も皆様にとりまして、希望に満ちた輝かしい年であり、ますとともに、穏やかで健やかな一年になります。よう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

年頭の



伊仙町教育委員会 教育長
大山 惣二郎

新年あけましておめでとございます。皆様方におかれましては、希望に満ち溢れた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、学校教育や生涯学習、特別支援学級に対し、温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

現在、我が国を取り巻く社会は、情報化やグローバル化といった大きな変化が、予測を超えて加速度的に進展しています。こうした社会を生き抜くためには、子どもたち一人ひとりが、予測が困難な変化に主体的に向き合い、自らの可能性を発揮し、よりよい社会と幸せな人生の創り手となる力を身に付けられるようにすることが重要です。

教育は、これまで受け継がれてきた伝統・文化・歴史を次の世代に伝えること、そして子供たちがそれをもとにして、自分たちの力で困難に立ち向かい、様々な課題を解決し、新しい時代を創る力を身に付けるように育てることだと考えています。

さて、昨年を振り返ってみますと、平成三十年から二年間は新学習指導要領の移行期間として、小学校三・四年生は外国語活動、小学校五・六年生は、外国語科が始まりました。来年度からは新指導要領の完全実施と外国語(英語)が5年、6年の教科として始まります。そのことを受けて本町の小学校に専門的な要素を備えた英語専科を加配し、外国語教育の充実に努めていきます。

また、「伊仙町の未来のために、我が子のために、共に」の理念の下、行政・学校・家庭の役割を明確にした学力向上プログラムを立ち上げ、学校教育のICT化の推進を通じた教育環境の整備・指導力向上に向けた研修を通じた授業力向上に取り組む、昨年度に増して教育活動の充実を図ることができました。

教育委員会としても、これまで以上に教育の本質を大切にしつつ、子供たちに何を培うことが大切か、子供たちのために何ができるかを考え、実行に移していかなければなりません。そのためには、現在の教育課題や現状を一つ一つ点検・把握し、判断していくことが必要であると考えています。

その他、児童生徒に「確かな学力」を育むためには、学習の基礎・基本の徹底や学ぶ意欲の育成が重要です。特に小学校段階から習熟の遅れがちな子供たちが、その学年で学習する内容を理解しないまま進級し、次の学年での学習に支障をきたすという事があります。

そのために、今年度も「家庭学習60・90+20」運動を継続して基礎学力向上の施策を通して家庭学習の習慣化に努めていきます。

また、「未来を担う力を育む、伊仙町学力向上プラン」を推進するため、標準学力検査の受検費用を補助し、町内の全ての児童・生徒の学力の状況や経年変化について分析することで、個に応じた指導の充実を図り学力向上につなげるため、未来を担うきめ細やかな指導を支える標準学力検査補助事業として、昨年度に引き続き、各校で実施する標準学力検査の費用を全額補助します。これまでの保護者の負担を無くし、本町の児童生徒一人一人が確実に検査を受け、義務教育9年間で毎年の結果分析を積み重ねることで、個々の児童生徒の学力の現状に応じた個別指導の充実を図り、加えて小・中学校で実施する漢検・英検・数検の受検費用を補助し、受検を促進することで、未来を担う児童生徒の基礎学力の向上に努めていきます。

最後になりますが、新年度に向けては行事を見直し、改善を加えながら学校・家庭・地域社会がその役割を十分果たしながら一層の連携と協力のもと、教育行政の充実発展に教育委員会が一丸となって町民の期待に応えられるように努力していきます。本年が皆様方にとりまして幸せに満ちた、充実した年になりますようにご祈念申し上げ、新年の挨拶いたします。

10
20

伊仙中部緑風会 一斉清掃

令和元年度伊仙中部緑風会の一斉清掃が実施されました。清掃場所は古里から阿三へリポートまでの海側幹線道路で、今年度は天候が心配される中、220名の参加がありました。参加者は子供から大人まで年齢層は幅広く、幹線道路沿いの除草や水路の土砂あげ、ゴミ拾い等の清掃を行いました。

近年は農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う、集落機能の低下により共同作業等で支えられてきた多面的機能の発揮に支障が生じつつあり、農家の負担が懸念される中、多面的機能支払交付金事業組織【伊仙中部緑風会】は、古里から阿三集落までのクリーン作戦日を本作業へ変更依頼し、毎年、一斉作業を行っています。



清掃後の集合写真



除草作業の様子



ごみを回収する子どもたち

農業者以外にも参加するこの活動は多面的機能の維持・発揮を図る素晴らしい活動と評価されています。毎年、ビバーを持参された参加者は替刃を配布していましたが、今年度は新たに、ビバーを持参していない方には伊仙中部緑風会のタオル、参加した子どもには文具券の配布を行いました。地域の多面的機能の維持・発揮を図る活動が更に広まるよう期待したいと思います。

11
12

第19回 社会福祉大会・伊仙町ふれあい福祉スポーツ大会

伊仙町総合体育館で、社会福祉大会・伊仙町ふれあい福祉スポーツ大会が開催されました。

社会福祉大会では、徳島博敏さん、徳島ムツ枝さん夫妻による三味線、島唄が披露され、ムツ枝さんがバランスを取りながら、酒瓶を頭の上に載せて、踊りを披露し、会場を沸かせました。

伊仙町ふれあい福祉スポーツ大会の開会式では、幸野憲繁さんが選手宣誓を行い、競技種目がスタートしました。



開会式の様子



選手宣誓 幸野 憲繁さん



三味線に合わせて酒瓶を頭に載せる踊りを披露



ボーリングリレー

徒競走では、各チームから6名ずつ参加し、体育館内のコートを走りました。ボーリングリレーでは、車椅子を利用していらっしゃる皆さんも一緒に参加し、瓶を狙ってボールを転がし、楽しみながら参加していました。車椅子が手放せない高齢者の方でも、競技に参加できるよう工夫が生かされていました。参加者の皆さんは、スポーツを通じて親睦を深めました。

福岡県議会 子育て支援・人財育成調査特別委員会による行政視察が行われました。子育て支援に関する地域環境についての調査として、伊仙町を訪問しました。

質問では、単身者の結婚に関する行政の支援策、子育て世代の環境に対する満足度や子育て世代への優遇施策や住居への家賃補助など、町としてのどのような取り組みが行われているかについて、質問がありました。

子育て世帯への優遇措置として、小規模校区に町営住宅を建設しており、家賃の減免を行い、入居を促す取り組みを紹介しました。地域においては、高齢者が参加している地域サロンに、子どもたちも参加しており、高齢者が子どもたちの面倒を見るなど、地域で役割を担って活躍している事例についても紹介があり、地域力の高さに関心を寄せていました。



町側と子育てを中心に意見交換を行う福岡県議会の視察団



徳之島交流ひろば「ほーらい館」の施設見学

行政視察受入実績 (4月~12月)

日程	都道府県	団体	視察項目
5月28日	熊本県	水俣市議会	子育て支援と合計特殊出生率日本一のまちづくりについて
6月26日	静岡県	御殿場市議会 会派 改新	移住定住促進・子育て支援の取り組みについて
7月2日	広島県	庄原市議会 会派 清風	日本一子宝の町、目指すものは、教育環境の整備
10月2日	千葉県	東金市議会 会派 新生みらい	子育て支援と特殊出生率日本一のまちづくりについて
11月27日	福岡県	福岡県議会 子育て支援・人財育成調査特別委員会	合計特殊出生率2期連続全国1位になった伊仙町の取り組みについて

第60回 日本復帰記念
大島地区駅伝競走大会結果

令和元年12月1日(日)第60回日本復帰記念大島地区駅伝競走大会(女子5区間14.6km・男子5区間33.2km)が喜界町で行われ、女子9チーム(うちOP参加2チーム)、男子13チーム(うちOP参加4チーム)が出場しました。大会当日は、風の強い中選手一丸となり、伊仙町の代表として、堂々とした走りを見せ

てくれました。伊仙町の結果は、総合順位女子5位・男子3位でした。また、男子4区(9km)では面縄中学校出身永里剛城選手、5区では國島毅選手が区間賞を獲得しました。令和2年度は伊仙町での開催となります。

女子の部

1	瀬戸内町A	54'47"
2	奄美市	55'04"
3	和泊町	57'24"
4	龍郷町	59'04"
5	伊仙町	1:01'00"
6	喜界町A	1:01'22"
7	与論町	1:06'42"
OP	瀬戸内町B	58'44"
OP	喜界町B	1:07'10"

男子の部

1	奄美市A	1:52'59"
2	喜界町A	1:54'56"
3	伊仙町	1:57'05"
4	瀬戸内町	2:00'59"
5	龍郷町	2:01'50"
6	与論町	2:03'03"
7	徳之島町	2:04'22"
8	和泊町	2:12'22"
9	大和村	2:18'11"
OP	奄美市B	1:56'45"
OP	喜界町B	2:03'49"
OP	喜界町C	2:05'20"
OP	喜界町D	2:08'52"

※ OPはオープン参加

伊仙町女子

1区 3km	相良 奈々(面縄中学校)
2区 3km	藤崎 あかり(伊仙小学校勤務)
3区 2.8km	為 彩香(徳之島高校)
4区 3km	有山 萌(徳之島高校)
5区 2.8km	中富 海月(面縄中学校)

伊仙町男子

1区 4.1km	稲田 和志(面縄中学校)
2区 7km	富本 瞬希(徳之島高校)
3区 5.6km	有山 龍宝(面縄中学校)
4区 9km	永里 剛城(自衛隊国分駐屯所)
5区 7.5km	國島 毅(亀津小学校勤務 伊仙在住)

※朱書き区間賞



令和元年度

第43回 伊仙町産業祭・食の文化祭

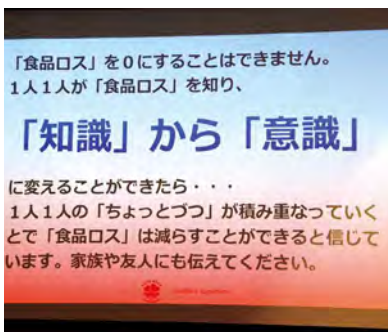


各部門における表彰式が行われました



食品ロスについて語る講師の原田一世氏

第43回伊仙町産業祭・食の文化祭が開催されました。台風の影響により、急遽屋外の催し物を中止し、屋内のみの開催となりましたが、多くの来場者が訪れました。式典の表彰式では、さとうきび部門、畜産部門、伊仙町商工会部門、徳之島の夢ある農業絵画、8020運動、給食レシピコンテストなど各部門における表彰が行われました。その後、「食品ロス削減で年間〇〇円得する人、損する人」と題した講演会が行われました。講師を務めたNPO法人フードバンクがごしま代表理事 原田一世氏は、日本



食品ロスを減らす取り組みをしましょう



悪天候のなか、来場された皆さん

では推計で、年間2,842万トンもの食品が廃棄されており、このうち食べられる食品の廃棄が646万トンに達していることを冒頭で話し、食品ロスに関する問題を提起しました。私たち一人一人が食品ロスに関して、関心を持ち、できることを「ちよつとづつ」積み重ねていくことが食品ロスを減らすことにつながると語り、「普段から買い過ぎたり、料理を作り過ぎたりしていませんか考えてみてください」と会場の皆さんへ語りかけていました。

徳之島インターナショナル DAY



ハワイ在住 面縄中学校出身の餅田さんとテレビ電話会議



インターネット中継を通じて、フィリピンの現地の人と英会話を体験

第43回産業祭・食の文化祭終了後に、同会場で徳之島インターナショナルDAYが開催されました。ホストタウン登録に至っているポスニア・ヘルツェゴビナの紹介や前年度実施したニューージーランド派遣プログラム、今年度派遣予定のフィリピンの事業内容の紹介が行われました。また、インターネット中継を通じて、フィリピンの現地の人と英会話に触れるなど、来場した保護者の皆さんや子どもたちも興味津々でした。



ニューージーランドの紹介コーナー



バナナの葉で包んだ「スマレ」の試食コーナー

そのほかにも、ハワイ大学に通う面縄中学校出身の餅田さんと、現地ハワイからインターネット中継によるテレビ会議を行いました。海外から見た徳之島の文化の違いや島口について、参加者の皆さんと意見交換を行いました。会場には、ココナッツと餅米で作った「スマレ」と呼ばれるフィリピンのお菓子の試食コーナーも設けられ、食文化の違いについても体験することができました。

町長の動き



伊仙町長の1か月の主な動静を紹介いたします。

月日	行事	場所
11/15(金)	ボスニア大使訪問	東京都
17(日)	第8回阿権校区合同文化祭	伊仙町
18(月)	沖永良部 和泊町役場新庁舎視察	和泊町
21(木)	庁舎検討会	伊仙町
22(金)	(独法)農畜産業振興機構との交流会	徳之島町
23(土)	伊仙町産業祭・食の文化祭	伊仙町
26(火)	伊仙町戦没者合同追悼式	
27(水)	行政視察 福岡県議会20名他	東京都
28(木)	奄美群島要請活動 2019奄美TIDAネシア交流会	
29(金)	第14回鹿児島県子ども子育て支援会議	鹿児島市
30(土)	伊仙町PTA連絡協議会実践発表会	伊仙町
12/2(月)	南西糖業 表敬訪問 九州防衛局地方調整課来庁「防衛白書の説明」	
3(火)	大島郡町村会各種会議	奄美市
4(水)	徳之島用水土地改良区第3回理事会 面縄小来庁「文部科学大臣賞授章の報告」	伊仙町
5(木)	セコム(株)来庁 「サテライトオフィス事業について」	
6(金)	民生委員会 定例会 東京奄美会 20名表敬訪問・交流会 「伊仙町の概要や取組について」	徳之島町
7(土)	世界自然遺産シンポジウムin徳之島 ～親子で考える世界自然遺産～	
9(月)	ほーらい館 Xmas party	伊仙町
10(火)	伊仙町令和元年度第4回議会定例会開会	

地域おこし協力隊

こんにちは。地域おこし協力隊の加川です。
寒い日が続いていますが、皆さまいかが
お過ごしでしょうか？



ご報告です。

2017年12月から伊仙町に来て、地域おこし協力隊として活動してまいりましたが、2019年11月をもって、協力隊の活動を終えて、新しい道に進むことになりました。活動の中で、写真を通して、徳之島にいらっしゃる方、島外出身者、徳之島が大好きな方々とたくさんお会いし、改めて島のことをたくさん知ることができました。ありがとうございました。皆さまに、直接ご挨拶に伺えず、申し訳ございません。

伊仙町役場に来て、眠っている写真を見て、家庭に眠っている写真を見て、毎日ドキドキしていました。懐かしい、おもしろい、とたくさんの方々と気持ちを共有できて、本当に楽しく、たくさんの可能性があるんだなあと毎日ワクワクしていました。

今までは地域おこし協力隊でしたが、これからは島出身の一人として、島のことを考えながら前に進んでいきたいと思います。皆さま、お世話になりました。本当にありがとうございました。

令和元年度コミュニティ助成事業の報告

令和元年度コミュニティ助成事業が行われました。この事業は、集落自治会活動の充実を図るため、集落行事などで使用する活動備品等を整備する事業です。本事業は宝くじ助成金で実施されており、今年度は、佐弁集落の備品整備が完了しました。



長寿世界一と子宝日本一の町

鹿児島県 大島郡 **伊仙町**

ふるさと納税

伊仙町 ふるさと納税特設サイト

伊仙町役場未来創生課
鹿児島県大島郡伊仙町伊仙 1842 TEL:0997-86-3111
メール : furusatonouzei@town.isen.kagoshima.jp

美しく雄大な自然環境と温暖な気候、
カルシウム豊富な水や、
ミネラル豊富な大地で育まれた食材が、
「長寿・子宝の秘訣」。



○くらし支援課

離島割引カードについて

■対象路線

- ・日本エアコミューター(ＪＡＣ)
- ・鹿児島空港発着の離島路線及び離島間路線
- ・鹿児島～奄美～沖縄航路(与論まで)
- ・鹿児島～喜界～知名航路

■対象者

伊仙町に住所登録をされている方(3歳以上)

■手続に必要なもの

航空券・乗船券を購入する際にカードを提示してください

■手続に必要なもの

1. 顔写真(縦3cm×横2.5cm)
※3ヶ月以内に撮影された、脱帽、無背景のもの
2. 本人確認書類(免許証・保険証)

■カード発行手数料

無料

■有効期限

カード発行日から3年間

■お願い

- ・カードの発行は平日8時30分～17時15分まで受付可能です
- ※土日、祝日の受付は不可
- ・搭乗・乗船する際にカードの提示を求められます。必ず事前に有効期限の確認をお願いします。



手続きは伊仙町役場(くらし支援課)にて行っております。

更新の際は、古いカードを持参いただく、スムーズに発行できますので、協力をお願いいたします。

■お問い合わせ

伊仙町役場 くらし支援課

TEL.. 86-3111 (内線53)

町税について

日頃から伊仙町の税政に多大なご理解をいただき、ありがとうございます。今年度におきましても個人・法人を問わず、多くの皆様に納付していただき、貴重な自主財源として活用しています。しかしながら、昨年度未までの町税の滞納額は5,238万円となり、住民サービスや公共事業等に多大な影響がでています。

くらし支援課では、そのような方に対して、督促状や催告書を送り、また自宅訪問や電話連絡で相談させていただいています。このような対応にもかかわらず、納付の約束が守られない場合は、やむを得ず、財産(給与・預貯金・生命保険・自宅搜索等)を差し押さえ、町民の公平な税の負担に努めています。昨年度は24件の差し押さえを実施することとなりました。町税の納付については、くらし支援課まで相談ください。また、やむを得ず滞納してしまった方もご連絡お待ちしております。

■お問い合わせ

伊仙町役場 くらし支援課

TEL.. 86-3111 (内線57)

○地域福祉課

介護保険料について

介護保険制度とは

40歳以上の人が加入者となって共同連帯の理念に基づき被保険者(いわゆる住民の方々)がお互いに保険料を負担し合うことで成り立っている社会保険制度になります。

その中で、保険料を滞納している方が、介護保険サービスを利用し、保険給付を受け続けることは、介護保険制度の考え方に反し、他の住民の方々の保険料を支払う意欲を下げることにつながります。

そのため、滞納者には保険給付を制限し、保険料を払っている人と払っていない人との公平性を図るために、滞納者へは保険給付制限をかける必要があると考えられています。

介護保険料を期限内に納めましょう

介護保険料に関する時効の消滅は2年間です。そのため、時効となった保険料に関しては、納めることができなくなります。滞納された方に対しては、滞納期間に応じて次のような措置がとられます。

●滞納した場合の給付制限について

●1年間滞納した場合 (介護保険法第66条)

費用の全額を一旦利用者が負担し、申請により後で保険給付分費用の9割が支給されます。

●1年6ヶ月滞納した場合 (介護保険法第67条)

保険給付の全部又は一部の支払いを一時差し止めとなる。

●2年を過ぎると

(介護保険法第69条)

利用者負担が3割となり、高額介護サービス費が受けられなくなります。

※災害などの特別な事情があると認められた際は、保険料の減免や徴収の猶予を受けられることがあります。

※納付相談も受けたまわっておりますので、ご不明な点等ございましたら、伊仙町役場 地域福祉課 介護保険係までよろしくお問い合わせください。

■お問い合わせ

伊仙町役場

地域福祉課 介護保険係

TEL.. 86-3111 (内線64)

○未来創生課

農林業センサスが実施されます

農林業センサスは、地域における農林業の生産構造や就業構造の実態を明らかにすることを目的に、5年ごとに実施する農林業に関する統計調査です。この調査は、農林業を営むすべての農家や林家、会社等を対象としており、調査によって得られた結果は農林行政の推進に活用されています。令和元年12月15日～令和2年2月28日までの間に、対象となる世帯へ調査員が訪問します。なお、調査の結果が税金の徴収に使われることは一切ありませんので、皆様の調査へのご協力をお願いします。

■お問い合わせ

伊仙町役場 未来創生課

TEL.. 86-3111 (内線27)

農業委員会

伊仙町農業委員会委員募集要項

(1) 募集人員：14名

(2) 業務

● 農地法等によりその権限に属させた事項

● 農地等の利用の最適化(担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進)の推進

● 法人化その他の農業経営の合理化

● 農業に関する調査及び情報提供

(3) 任期

令和2年7月20日から令和5年7月19日まで

(4) 報酬

月額報酬(伊仙町特別職の職員で非常勤のもの)の報酬及び費用弁償に関する条例に基づきます。

(5) 応募資格

伊仙町農業委員会の委員として推薦を受ける者及び募集に応募する者は、農業に関する見識を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項その他の農業委員会の所掌に属する事項に関し、その職務を適切に行うことができる者を募集する。
※なお以下に該当する者については応募資格がありませんのでご注意ください。

● 破産手続き開始の決定を受けて復権を得ない者

● 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終るまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

(6) 応募方法

「農業委員会委員候補者応募申込書又は推薦書」を提出してください。
※様式はホームページからダウンロード可能。

① 自ら応募する場合(様式1)
自ら記入してください。

② 推薦を受ける場合(推薦者が個人)(様式2)
3名以上の推薦する農業者が連名し、当該代表者が記入してください。

③ 推薦を受ける場合(推薦者が法人又は団体)(様式3)
法人または団体の代表者又は管理人が記入してください。

※推薦者が個人の場合、同一の農家世帯から複数名の推薦はできません。

(7) 受付期間

令和2年1月6日(月)から令和2年2月7日(金)まで。伊仙町農業委員会事務局に直接提出するか郵送により提出すること。(ただし、令和2年2月7日(金)必着)

(8) 公表

候補者の募集の状況について令和2年1月下旬に中間報告、令和2年2月中旬に最終報告を伊仙町ホームページ上に掲載します。公表内容については応募・推薦を受けた者の数及びそのうちの認定農業者等の数となります。

農地利用最適化推進委員募集要項

(1) 募集人員

6名
ただし、東部地区2名、中部地区2名、西部地区2名

(2) 業務

● 人・農地プランなど、地域の農業者等の話し合いを推進

● 農地の出し手・受け手へのアプローチを行い、農地利用の集積・集約化を推進

● 耕作放棄地の発生防止と解消を推進

● 農地中間管理機構との連絡調整

(3) 任期

令和2年7月20日から令和5年7月19日まで

(4) 報酬

月額報酬(伊仙町特別職の職員で非常勤のもの)の報酬及び費用弁償に関する条例に基づきます。

(5) 応募資格

農地利用最適化推進委員として推薦を受ける者及び募集に応募する者は、農業に関する見識を有し、農地等の利用の最適化の推進に関する事項その他の農業委員会の所掌に属する事項に関し、その職務を適切に行うことができる者を募集する。
※なお以下に該当する者については応募資格がありませんのでご注意ください。

● 自治体の執行機関の委員等であって農地利用最適化推進委員との兼職が禁止されている者

● 破産手続き開始の決定を受けて復権を得ない者

● 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終るまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者

(6) 応募方法

「農地利用最適化推進委員候補者応募申込書又は推薦書」を提出してください。
※様式はホームページからダウンロード可能。

① 自ら応募する場合(様式1)
自ら記入してください。

② 推薦を受ける場合(推薦者が個人)(様式2)
3名以上の推薦する農業者が連名し、当該代表者が記入してください。

③ 推薦を受ける場合(推薦者が法人又は団体)(様式3)
法人または団体の代表者又は管理人が記入してください。

※推薦者が個人の場合、同一の農家世帯から複数名の推薦はできません。

(7) 受付期間

令和2年1月6日(月)から令和2年2月7日(金)まで。伊仙町農業委員会事務局に直接提出するか郵送により提出すること。(ただし、令和2年2月7日(金)必着)

(8) 公表

候補者の募集の状況について令和2年1月下旬に中間報告、令和2年2月中旬に最終報告を伊仙町ホームページ上に掲載します。公表内容については応募・推薦を受けた者の数及びそのうちの認定農業者等の数となります。

■お問い合わせ

伊仙町役場 農業委員会
TEL.. 86-33111 (内線30)

マイナポイントを活用した

消費活性化策のご案内



JB01



公的個人認証
サービスPRキャラクター
マイキーくん



マイナンバーPRキャラクター
マイナちゃん

2020年度 ポイントを活用してお得に買い物！！

マイナンバーカードを取得し、マイキーIDを設定の上、一定額を前払い等した方に対して
国が「マイナポイント」を付与します。(2020年度実施予定。制度の詳細は検討中。)

仕組みのイメージ



出典「デジタルガバメント関係会議」(令和元年9月3日)資料4を基に総務省作成

利用場面の一例

スマホによる
QRコード決済等で
ポイント利用



オンラインショップで
ポイント利用



【マイナポイントを買うためには?】

準備① マイナンバーカードの申請・取得

マイナポイントを利用するためには、マイナンバーカードが必要です。
マイナンバーカードはパソコン・スマートフォン・郵便・まちなかの
証明写真機から申請することができます。

※マイキーIDの設定にはマイナンバーカードのICチップに「電子証明書」を搭載する必要があります。
パスワード設定が必要なので、カードの申請時又は受取時にお住いの市区町村で設定してください。



マイナンバーカードの
申請方法はこちら!



準備② マイキーIDの設定

【②-1】



スマートフォン

- マイナンバーカード
- アプリのインストール

又は

パソコン

- マイナンバーカード
- カードリーダー



※公的個人認証サービス対応のスマートフォンのみ対応。iPhone(iOS)は未対応(今後、対応予定)。



1 2 3 4

マイナンバーカード交付時に設定した暗証番号(4桁)

【②-2】

マイキーIDの設定



詳細はウラ面参照

【マイナポイントのご利用】

民間決済事業者の決済手段を活用して、マイキーIDを用いたマイナポイントの利用手続きを行います。
※詳細は検討中。今後、お知らせ予定。

【お問い合わせ】

マイナンバー総合フリーダイヤル ☎ 0120-95-0178 (音声ガイダンスに従って「5番」を選択してください。)

平日:9時30分~20時00分/土日祝:9時30分~17時30分(年末年始 12月29日~1月3日を除く。)



総務省



内閣府

奄美群島振興開発基金からのお知らせ

奄美基金は、奄美群島の産業振興を図るため、融資業務・保証業務により事業者の方々への事業資金の円滑な供給に努めています。

奄美基金の主な融資制度のご案内

資金名	資金用途	貸付の限度額	貸付期間	貸付利率
農・林業振興資金 (サトウキビ、畜産、果樹園芸、野菜、花き等) (樹苗、椎茸、木材生産加工)	設備資金	個人 1,000万円 法人 1,500万円	5～15年	0.06～0.21%
水産業振興資金 (漁船取得、改造、装備購入、養殖施設整備、共同利用施設等)	設備資金	個人 2,000万円 法人 4,000万円	5～10年	0.21～0.90%
観光関連産業振興資金 (民宿、ホテル、遊漁船、ダイビング、観光ガイド、土産品製造等)	設備資金 運転資金	個人・法人 1億円	設備 20年 運転 7年	設備 1.51～2.56% 運転 1.91～2.91%
流通・加工業等振興資金 (一次産業従事者の運転資金) (農林水産物等の流通加工業等)	設備資金 運転資金	個人・法人 1億円	設備 20年 運転 7年	設備 1.51～2.56% 運転 1.91～2.91%
地域資源等振興資金 (大島紬、黒糖焼酎等の特産品並びに地域の資源・技術等を活用した商品の製造・販売業)	設備資金 運転資金	個人・法人 1億円	設備 20年 運転 7年	設備 1.51～2.56% 運転 1.91～2.91%
地域活性化・雇用促進資金 (情報通信産業、企業立地、雇用の促進等地域活性化に資する事業)	設備資金 運転資金	個人・法人 1億円	設備 20年 運転 7年	設備 1.51～2.56% 運転 1.91～2.91%

※貸付金利は、令和元年10月17日現在のものです。

※貸付期間及び貸付利率は資金用途などにより異なります。また融資にあたっては所定の審査が必要となります。
(詳細については奄美基金までお問い合わせください)

■保証業務は、事業者の方々金融機関から借入を行う際に、奄美基金が信用保証を行うことで円滑な資金供給を支援する制度です。(詳細については奄美基金、各金融機関、各商工会等へお問い合わせください)

お問い合わせ先 独立行政法人奄美群島振興開発基金 徳之島事務所

〒891-7101 大島郡徳之島町亀津2928-4

■電話番号：0997-82-0309 ■FAX：0997-82-2362 ■HPアドレス：<http://www.amami.go.jp>

■Eメール：kikin@amami.go.jp (Eメールからもご相談を受け付けていますので、ご利用ください)



伊仙町商工会の窓



上木酒店

お酒・食料品 販売しています

営業時間 7時～19時
電話番号 86-2082

子宝
日本一の
町!

わが町の アイドル!

るのあ
樺山 莉愛ちゃん (8歳)

てっしょう
樺山 輝生くん (6歳)

おとあ
樺山 桜愛ちゃん
(0歳7カ月)



たくさん遊んで
ケンカして、
元気いっぱい育ててね。
いつもお姉ちゃん、
お兄ちゃんありがとう。

わが町のアイドル募集!

町のみなさんにわが家のかわいい子供の笑顔を届けてみませんか?
毎月10日までに住所・氏名・お子さんのお名前(ふりがな)・年齢・電話番号・
簡単なPR文を添えて、写真を未来創生課広報係までお持ちください。

お問い合わせ
伊仙町役場 未来創生課
TEL 86-3111(内線27)

人口の動き

(2019年11月末日現在)
※総人口は、外国人含む。

総人口	6,607人
男	3,364人
女	3,243人
世帯数	3,469世帯
出生	4人
死亡	13人
転入	14人
転出	22人

香典返し

○ 検福	積久徳重さん	(亡) 積久アイ子さん	88歳
○ 阿権	作田隆司さん	(亡) 作田トキさん	76歳
○ 崎原	寛山篤子さん	(亡) 寛山勝茂さん	77歳
○ 河地	山本進さん	(亡) 山本トヨ子さん	89歳
○ 中伊仙東	杉澤武市さん	(亡) 杉澤トミさん	84歳

※社会福祉協議会受付
金一封いただきました。

戸籍の窓

お誕生おめでとう (敬称略)

● 川本	悠雅	川本 博幸	木之香
● 郷	結香	郷 和彦	犬田布

出生児 保護者 集落名

ご結婚おめでとう (敬称略)

氏名	集落名
○ 與嶺 友紀也	伊仙
○ 藤田 沙十美	瀬戸内町
○ 實 勝樹	伊仙
○ 永瀬 多恵子	北九州市
○ 坂元 繁	阿権
○ 平山 奈央子	犬田布